

ウォーキングコース(龍角寺七不思議の道)

～いにしへの
七不思議伝説の道をゆく～



編集・発行
のら里くら里健康バーチャル
ウォーキング実行委員会
事務局：千葉県印旛郡栄町安食301-1
0476-85-1661
<http://hitomati.net>

《龍角寺の七不思議(民話)》

①子者清水



岩屋古墳のすぐ下にある湧水で、昔親が飲むと古酒で、子どもが飲むとただの清水であったことから、このように伝えられている。

この河(池)は高い所へ、即ち逆さに流れていたと言われ、サカサからサカタに変化したと言う。昔、この堤がたびたびくずれることから、女の人柱をささげた・・・。その時背負っていた子が梅の実をかじっており、その実から芽が出、木になり、梅の実がついた。どの実もがじたような歯のあとがあったということから片齒(形見)梅とい

②片齒の梅



われている。今も池のそばに梅の木が立っている。

③椀貸し(岩屋古墳)

この近郊の人々はこの岩屋に膳・椀等を借りたいとお願いすると、翌日その前に供えられており、その食器を借りた。ある日ある人が1膳だけ返すのを忘れて



なくなったという。その膳が今でも龍角寺に保存されてい

⑦村雨返しの松



村の北はずれに松の老木があって、その松を境にして、一方は雨が降ったり、他方は雨が降らなかったりしたという。

④八つの井戸



この近郊の山すそに、6m位の清水湧く井戸が8つあって、その水で生活を営んでいた。不便さから他所に井戸を掘ると、ことごとくその家に不幸がおこったと言われ、8つの井戸以外は掘らなかった。

⑤ 龍燈腰掛の松

雨講祈祷の後、3つに割れた頭部が松の老木にかかったといい、その名があるが今は枯れてしまった。

⑥ 不増不減の



塔跡のことで、中央のくぼみにある水は、雨が降っても日照りになっても、増えることも減ることもなかったといわれている。

=栄町観光ガイドブック参照=



ちょっと より道

◆龍角寺はいつ頃出来たのですか？

関東地方で最も古い寺の1つ。本尊の薬師如来坐像(国指定重要文化財)は709年に作られた千葉県最古の白鳳時代のもの。寺伝では709年に竜女がやってきて一夜のうちに諸堂を建てたと言う。当時は東に高さ33mの塔があったらしい。龍角寺入り口には、今も仁王門の礎石6個が残っている。